

桐生市学校規模等適正化

境野中学校区検討委員会だより

第3号

令和6年10月11日（金）午後2時から、境野中学校において、第3回桐生市学校規模等適正化境野中学校区検討委員会を開催しました。

第3回 境野中学校区検討委員会の協議内容

各中学校区の第2回検討委員会において、委員の皆様から、「桐生市全体で考える必要がある」、「旧桐生地域における望ましい規模の学校数はどのくらいなのか」というご意見をいただきました。このため、教育委員会は、これまでの検討委員会におけるご意見などを基に、検討資料として地域ブロック別の「学校規模及び学校配置の適正化に向けた組合せ例」を新たに作成しました。第3回検討委員会では、教育委員会から追加資料を説明後、議題について協議が行われました。

<議題>

- ・境野中学校区における学校規模等適正化の手法について

<説明した事項>

■桐生市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の各種基準■

- 望ましい学校規模：[小学校]12学級以上（1学年2学級以上）[中学校]9学級以上（1学年3学級以上）
- 望ましい学級規模：[小学校]1・2学年30人以下、3～6学年35人以下
[中学校]1～3学年35人以下
- 望ましい通学時間：[小学校・中学校]通学手段を問わず、30分以内

- 【小規模校の課題】多様な考えに触れる機会や切磋琢磨する機会が少ない。人間関係が悪くなった時の対応が難しい。クラブ活動や部活動の種類が限定される。
- 【大規模校の課題】児童生徒一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなるなど、教育活動の展開に支障が生じる。

■望ましい規模の学校数■

基本方針の各種基準に基づき、学級数の見込みから、望ましい規模の学校数を計算した場合
(単位：校)

区 分	地 域	令和6年度 (2024)	令和11年度 (2029)	令和16年度 (2034)	令和21年度 (2039)	令和26年度 (2044)	令和31年度 (2049)
		学校数	学校数	学校数	学校数	学校数	学校数
小学校	旧桐生	7 [13]	5～6	3～5	3～4	3～4	3
	旧新里	2 [3]	1～2	1	1	1	1
中学校	旧桐生	4 [8]	4	3	3	2～3	1～3
	旧新里	1 [1]	1	1	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>

※令和6年度の【括弧】は、令和6年5月1日時点の学校数の実績値。

※赤字の二重下線は、小学校12学級以上、中学校9学級以上を満たしていない。

(※ホームページに掲載した、資料10「学校規模及び学校配置の適正化に向けた組合せ例について」をご確認ください。)

■学校規模及び学校配置の適正化に向けた組合せ例■

基本方針の各種基準や、これまでの検討委員会におけるご意見のほか、中学校区ごとの児童生徒数・学級数の見込み、地理的特性などを考慮し、中学校区の枠組みを基本とした上で、桐生市全体の将来を見据えた場合、旧桐生地域を3つのブロック、旧新里地域を1つのブロックと捉え、学校規模及び学校配置の適正化を検討することが望ましいと考えられる。

○旧桐生地域：「中央中学校区、清流中学校区、境野中学校区、梅田中学校区」

：「広沢中学校区、桜木中学校区」

：「相生中学校区、川内中学校区」

○旧新里地域：「新里中学校区」

<主な意見>

境野小の運動会の練習の様子を見ると、規模がまだ大きい方であるため、各学年、迫力のある演技、迫力のある声で、気持ち良さそうに表現をしている。

資料の児童数の推移を見ると、境野小でも規模が小さくなり、市内の他の学校でも、単学級が生じることを考えると、桐生市の子供たちが、未長く、多人数の中で、1つの目標に向かって切磋琢磨できるような適正規模の学校が必要であると考えている。

子供たちの通学時間や通学環境を考えると、地域のブロック別に進めることが、一番適正であると思う。

旧桐生地域を3つのブロックで進めていけたら良いと思う。保護者からは、境野中学校区と広沢中学校区が統合する場合、距離的に難しいという多くの意見があるので、「中央中・清流中・境野中・梅田中」地域ブロックは、適切であり、保護者の意見とも一致していると思う。

資料は、令和6年度から令和31年度まで、25年後の先まで見通しているが、例えば、10年後、20年後と、2回に分けて統廃合をするのか、25年後を見通して、全市的に1回で統廃合を進めるのかを検討した方が良いと思う。

旧桐生地域を3つのブロックに分ける案は良いと思うが、25年後に予測値のおりの児童生徒数があるかは分からないので、まずは、「中央中・清流中・境野中・梅田中」地域ブロックで統合を進め、その後、再検討になるような気がする。私は、子供たちの成長過程を考えると、なるべく大きな集団で学んだ方が良いと思う。

単学級では、入学した時点でトラブルがあると、クラス替えがなく、6年間、同じ環境にいることとなる状況を考えると、複数の学級がある大勢の中で過ごすことのできる環境が良いと思う。

小学校7校（境野・西・南・東・北・菱・梅田南）が1回で統合するのは、非常に難しいと感じるため、2段階で統合するのが良いと思う。

※意見や質問等の詳細については、ホームページに掲載した議事録をご覧ください。

<今回決定した事項>

- 学校規模や学校配置の適正化の手法について、協議を継続する。

各中学校区検討委員会の協議状況

令和6年11月6日時点

検討委員会	協議状況
中央中学校区	中央中、清流中、境野中、梅田中学校区で地域協議会の編成を検討中
清流中学校区	中央中、清流中、境野中、梅田中学校区で地域協議会の編成を検討中
境野中学校区	中央中、清流中、境野中、梅田中学校区で地域協議会の編成を検討中
広沢中学校区	地域協議会の編成について検討中
梅田中学校区	中央中、清流中、境野中、梅田中学校区で地域協議会の編成を検討中
相生中学校区	相生中、川内中学校区で地域協議会の編成を検討中
川内中学校区	相生中、川内中学校区で地域協議会の編成を検討中
桜木中学校区	広沢中、桜木中学校区で地域協議会の編成を検討中
新里中学校区	新里中学校区内の小学校の学校統合について検討中

●お問い合わせ●

桐生市教育委員会事務局 教育環境課 教育未来係
住 所 桐生市小曾根町3番30号（旧桐生市立西中学校跡地）
電 話 0277-46-6427（直通）
ファクシ 0277-46-1109
e-mail kyoikukankyo@city.kiryu.lg.jp
<https://www.city.kiryu.lg.jp/kosodate/gakko/1022484/index.html>



◀詳しくは
2次元コードより
市ホームページを
ご確認ください。

＊桐生市教育委員会は、「桐生市教育センター」に移転しました。